障害者差別解消法
西吉井駅のバリアフリー化

中島 輝男（市民クラブ）

質問　平成28年4月から施行される障害者差別解消法に向けて、本市の準備状況は。また、市職員採用試験の障害者枠の受験資格に身体障害者のみを対象とするのは、法の趣旨に反しないか。

答弁　現在、必須項目である相談、紛争解決の体制整備や啓発活動と努力義務である職員対応要領の作成を検討している。また、厚生労働省通知では、障害者のみを対象として労働者を募集する場合、種別を限定して採用試験を行うことは、法が禁止する差別には該当しないとされているが、障害の特性に応じた職場体制など研究していきたい。

質問　上信電鉄西吉井駅にスロープを設置できないか。

答弁　バリアフリー新法に基づく道路の移動等円滑化整備ガイドラインに適合したスロープ設置には、駅施設の広さなどに問題があるため、上信電鉄株式会社と協議している。

質問　奨学金の返済困難者への猶予、減免措置は。また、給付型の制度や定住者への返済額を一部負担する考えは。

答弁　奨学資金貸与条例で進学などにより返済の猶予、減免ができるとしている。現在、給付型や一部負担制度の導入は難しいが、今後研究していきたい。

避難所の登録制度
障がい者の雇用促進を

丸山 覚（公明党）

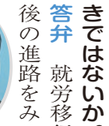
質問　指定避難所である小学校などよりも、町内公民館や店舗などの身近な民間施設に避難できれば便利だという市民の声がある。また、デイサービス事業所を避難所にできないかとの相談もあった。身近な場所を地域の避難所として登録する制度を導入できないか。

答弁　自主防災組織が主体となり、町内会ごとに避難所を開設、運営できれば、共助の考え方からも最も理想的な形と考える。場所や運営方法など課題も多いが、自主防災組織の普及拡大と併せ、登録制度についても研究をしたい。

質問　知的障がい者や発達障がい者に高校卒業後の学びの場を設ける動きが全国的に広がっている。現在の就労移行支援は2年と短いが、学びの場を設けることで就労意欲が出て、就労継続支援事業所、特にB型への就労を減らし、一般就労を増やせると考える。市として応援すべきではないか。

答弁　就労移行支援事業所利用後の進路をみると、一般就労の比率が低く、それに向けた取り組みの強化が課題であると認識している。学びの場については、近隣中核市などの状況を見ながら調査研究したい。

免許証返納者にバス利用券を贈呈



高齢者の外出支援
投票しやすい環境整備

逆瀬川 義久（公明党）

質問　運転免許証自主返納奨励事業で、バスやタクシーの利用券を贈呈しているが、内訳は。また、箕郷・群馬地域の福祉タクシーの今後は。

答弁　利用者と利用日時の集約等を工夫し、使い勝手を向上させているが、今後は利用実態等の再検証により、制度の改善を検討したい。また、福祉タクシーについては、高齢者の移動支援は極めて重要な行政課題であるため、引き続き総合的に検討したい。

質問　本市の地域ごとの投票所数の推移は。また、投票しやすい環境を整えるため移動手段を用意する考えは。

答弁　合併前は133か所あったが、現在108か所である。また、公共交通等を活用した市民の外出を支援する仕組みや、他の自治体の事例を参考に、選挙の投票がしやすい環境の整備について研究していきたい。

TPPが与える本市農業への影響
交通渋滞解消

追川 徳信（新風会）

質問　平成27年10月のTPP大筋合意による、本市農業や農業生産者に及ぼす影響への見解は。

答弁　現時点で具体的な影響を考察することは難しいが、農業を重要な産業と位置付け、将来にわたり持続的な農業振興が図れるよう取り組んでいく。また、国においても具体的な影響を精査し国内の対策を取りまとめるため、その動向を注視していく。

質問　八幡霊園拡張整備に伴う墓参り時期の渋滞解消のため、霊園北側の国道406号からの新たな進入道路の整備予定は。

答弁　平成28年度から用地買収など具体的な作業に着手する。今後も交通渋滞緩和や利用者の安全に配慮し、地域の方や関係者のご理解、ご協力をいただきながら整備を進めていく。

質問　道路整備以外の渋滞緩和策として、直進車がパッシングをして右折車を優先するなどの方法を推奨する考えは。また、「右折車優先にご協力ください」という看板を設置できないか。

答弁　道路交通法による直進車優先の原則もあり、右折車に対する譲り合いの思いの醸成はすぐには難しいが、重要と認識している。今後、渋滞軽減のために右折車優先等の啓発看板の検証も含めて、研究していく。

まめ知識 ●就労継続支援事業所　就労が困難な障害者に就労の機会を提供し、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業所のこと。
●TPP　日本・アメリカを中心とした環太平洋地域の国々による経済の自由化を目的とした経済連携協定のこと。

新町駅にエレベーターを
多胡碑記念館の整備

新保 克佳（公明党）

質問　新町駅では、下り線ホームから改札口へは階段を上り下りしなければならない。多くの人がエレベーターの設置を待望しているが、考えは。

答弁　設置する方向で来年度調査を始める。ただ、現在の跨線橋が古くエレベーターを設置して耐えられるのか、JRとよく相談し、技術的な検討をしたい。

質問　上野三碑の世界記憶遺産登録に向け、三碑の情報を一元的に解説、案内、発信するビジターセンターの設置が喫緊の課題である。現在の多胡碑記念館を発展させ、ビジターセンターとして整備できないか。

答弁　ビジターセンターの役割は現在も多胡碑記念館が果たしており、三碑すべてのレプリカを展示、解説している。今後、三碑に関する展示をより充実させ、映像を含めた情報の積極的な発信方法も検討したい。また、解説ボランティア組織を発足させ、さらに機能を強化したい。

質問　八幡霊園は4平方メートルの墓所が最小であるが、近年、より小さな区画に需要があるようである。小さな区画の新設は。

答弁　市民からの要望も多様であり、小規模な墓所の要望も多いため、要望に的確に応えられるよう対応したい。

介護予防事業の取り組み
療育の取り組み

小野 聡子（公明党）

質問　介護予防事業の新たな取り組みは。また、認知症を早期発見する健診を導入できないか。

答弁　介護予防サポーターの組織化や養成講座の区分を見直した。今後は、高齢者が地域の中で生きがいや役割を持てる機会の創出が重要と考え、より実効性のある事業を展開したい。また、認知症の早期発見や早期対応の体制をより強固にするため、他市の健診事例を検討したい。

質問　発達障がいなどで早期療育が必要な未就学児の療育の場が不足している。通級指導教室での対応は可能か。また、中学生は1か所だが、増やせないか。

答弁　中央教室で未就学児を受け入れているが、通級幼児が増加し対応しきれていない。乳幼児期からの一貫した相談支援が重要なので、対応を検討したい。また、中学生は進路を見据え、1か所に集約している。

中央銀座アーケード（再生イメージ図）

質問　支援員の増員や育成を市独自にできないか。また、経験者の話を聞いたり、話を聞いてもらう相談の場の設置は可能か。

答弁　市独自の支援員がいるので、今後は、研修の充実に努めたい。また、相談の希望があれば、関係団体の情報を提供している。現状、交流事業等は実施していないが、検討したい。

街中活性化策
本市の顔は白衣観音とだるま

後閑 賢二（新風会）

質問　再建を予定している中央銀座アーケード街は、にぎわいを起こすためにどのようなイメージとするのか。

答弁　高崎産木材を多く使用し採光性に配慮したデザインを考えている。また、高崎産食材を積極的に提供し、昭和の風情漂う飲食店が集まるまちづくりに向けた整備を進めている。

質問　白衣観音の参拝客が減っているようだが、誘客のため観音山駐車場を無料にする考えは。

答弁　環境を整備することで参道商店街を活性化し、誘客につなげたいと考え、3月に公衆トイレを設置した。また、長期的な観点から観音山丘陵地を一体的に捉え、観光地としての魅力を増やすことが重要である。観音山駐車場の無料化も観光客を増やす方策の一つと考えるが、駐車場全体の料金体系の問題もあるため、慎重に研究していく。

マイナンバー制度
耕作放棄地解消策

田村 理（日本共産党）

質問　マイナンバー通知カードの誤配送や個人番号を誤記載した住民票の交付は、番号漏えいに直結する問題であるが、対策は。

答弁　本市も誤配送があったが、本人から再発行の要望があり手続きをしている。郵便局には本人確認の徹底と再発防止をお願いした。また、住民票の交付は、複数人で二重三重に確認するなど、適正な対応を徹底したい。

質問　マイナンバー制度への市民が抱える不安や不満を解消するための取り組みは。

答弁　広報高崎やホームページ、ラジオ高崎などによる情報提供のほか、地域の説明会などにより不安感や不信感の解消に努めてきた。今後も的確なタイミングで情報提供を行っていきたい。

質問　TPP交渉により農業が厳しい現実に直面している。地域農業を守るためにさまざまな角度から手を尽くすべきであるが、市内に多数見られる耕作放棄地を解消するための方策は。

答弁　農業委員会の農地パトロール結果により通知を送付し、適切な管理をお願いしている。また、農地情報バンクや農地中間管理事業で農地の貸し借りを進めるほか、新規就農を促す施策などにも取り組んでいる。

まめ知識 ●通級指導教室　通常の学級に在籍する、比較的軽度の障害がある児童・生徒に対して、障害の状態に応じて特別な指導を行うための教室のこと。